

DP1:豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会・文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。	DP2:科学的探究心に基づき、最新の科学的知見を活用し、主体的かつ論理的に健康問題を解決することができる。	DP3:ライフサイクル、健康レベルに着目し、全ての人の健康問題を査定し、対象に適した看護を提供することができる。	DP4:対象者の健康問題の解決のために、保健・医療・福祉の関連領域の専門職と連携・協働することができる。	DP5:少子高齢化、過疎化、医療の偏在化等によってもたらされる地域の健康問題に対応した看護活動を展開することができる。	DP6:社会における保健・医療・福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。
---	---	--	--	---	--

